

Chapter 2

単語・熟語数：185

文法のテーマ：文の種類

単語や句に種類があるように、文にも種類があります。文の基本は、「肯定文」「否定文」「疑問文」です。「肯定文」「否定文」と「yes/noで答えられる疑問文」の3つは構造が単純ですが、「yes/noで答えられない疑問文」は少し複雑なので注意が必要です。

●● VOCABULARY

- Time flies.** [fláiz] 慣 時間が過ぎるのは速い。光陰矢の如し。
- yeah** [jéə] 副 ((口語) ええ、うん (* yes のくだけた言い方)
- go by** 動 (時が) 過ぎ去る、経過する、…のそばを過ぎる
- so** [sóu] 副 とても、非常に、本当に、そんなに、それほど
- quickly** [kwikli] 副 素早く、急速に、急いで (形 **quick** 素早い)
- not only ... but ~ (as well)** 慣 …のみならず～も (同 **not only ... but also ~ ; not just ... but ~ (as well)** * 「…」と「～」には同じ品詞を置いて両者の関係を理解し易くするのが原則。例文②では述語動詞が置かれている)
- cook** [kúk] 動 料理をする、…を料理する [名] 料理をする人
- do the dishes** [díʃiz] 動 皿洗いをする (同 **wash the dishes**)
- everyone** [évriwʌn] 代 全ての人 (* everybody と同じく単数扱いする)
- both ... and ~** [bóuθ] 慣 …と～の両方
- strength** [stréŋkθ] [名] 強み、長所、力 (形 **strong** 強い)
- weakness** [wi:knis] [名] 弱み、弱点、短所 (形 **weak** 弱い)

例文に登場する主なキャラクター (2)



Steve (Stephen)

Smith 家の父親。

建築家。家庭菜園が趣味で料理が得意。恐妻家。

Lesson 8

👉 否定文 : be 動詞の場合

次は、否定文の作り方です。まずは、be 動詞を否定形にして否定文を作る方法です。be 動詞の否定形は be 動詞の後ろに **not** を置くだけです。例えば、I am ... の否定文は I am **not** ...、He is ... の否定文は He is **not** ... です。但し、日常会話では、be 動詞を短縮して He's not ... としたり、not を短縮して He isn't ... としたりします。He is not ... のような短縮しない形はフォーマルな (=かしまった、堅い) 文章で用いたり、否定 (not) の意味を強調する場合に用います。

① "He's not a child anymore." "But he isn't an adult, either."

- ⇒ 「彼は・ではない・子供・もはや」「しかし・彼は・ではない・大人・また」
 → 「彼はもう子供じゃないよ」「かと言って、大人でもないわ」

次の表で各 be 動詞の否定形を確認しましょう。「短縮形」に慣れていないと英文がうまく聞き取れないことがあるので、音読してきちんと身につけましょう。

肯定	否定	否定の短縮形
is	is not	's not / isn't
am	am not	'm not
are	are not	're not / aren't
was	was not	wasn't
were	were not	weren't

また、**never** (一度も…ない)、**seldom**, **rarely** (めったに…ない)、**hardly** (ほとんど…ない) 等の否定語を用いる場合も、**be 動詞の後ろ**に置きます。

② Pat is never late for an appointment.

- ⇒ Pat は・である・一度もなく・遅れて・約束に。
 → Pat は約束の時間には決して遅れない。
 * an appointment を appointments とすることもできます。

③ She is seldom home on weekends.

⇒ 彼女はいる・めったになく・自宅に・週末は。

→ 彼女は週末は、ほとんど家にいない。

●● VOCABULARY

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> child [tʃaɪld] | 名 子供 (*複数形は children) |
| <input type="checkbox"/> anymore / any more | 副 ((否定文・疑問文で)) 今(で)はもう…ない |
| <input type="checkbox"/> adult [ədʌlt ædʌlt] | 名 大人、成人 形 大人の、成人の、成人向けの |
| <input type="checkbox"/> either [i:ðər aɪðə] | 副 ((否定文の文末で用い)) …もまた (* too は肯定文で用いる) |
| <input type="checkbox"/> be late for … [leɪt] | 動 …に遅れる [遅刻する] (慣 be late for school [class, work] 学校 [授業、仕事] に遅刻する) |
| <input type="checkbox"/> appointment
[əpɔɪntmənt] | 名 (人と会う) 約束、(病院や美容院の) 予約
(名 reservation [rezə'veɪʃən] (座席・テーブルやホテルの部屋などの) 予約) |
| <input type="checkbox"/> seldom [seldəm] | 副 めったに…しない (同 rarely [reəli]) |
| <input type="checkbox"/> home [hóum] | 副 自宅に、自宅へ(の)、自国に、自国へ(の) |
| <input type="checkbox"/> on [at] weekends
[wi:kəndz wi:kəndz] | 副 週末に(は) (同 on [at] the weekend *一般に((米))は on を用い、((英))は at を用いる。週末を複数の曜日と考えれば weekends になり一つの期間と考えれば the weekend になる) |

④ Steve is very patient and rarely or never gets angry.

⇒ Steve はとても辛抱強い・そして・めったにない・もしくは・一度もない・なる
ことが・怒った(状態)。

→ Steve はとても辛抱強く、怒ったりすることは全くと言っていいほどない。

* never と rarely は共に gets angry を修飾しています。

●● NOTE 動詞の「原形」と「現在形」の区別

このレッスンで「動詞の原形」ということばが出てきましたが、動詞の「原形」と「現在形」をきちんと区別してください。特に、「be 動詞」「do」「have」の3つは注意が必要です。be 動詞の「原形」は be で、「現在形」は am, is, are です。He does business in Tokyo. (彼は東京でビジネスをしている) の does や、He has two cars. の has も現在形であって原形ではありません。does の原形は do、has の原形は have です。

●● VOCABULARY

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> feel [fi:l] | 動 | …だと感じる、…だと感じられる |
| <input type="checkbox"/> 否定語 + very … | 慣 | あまり…でない (*「…」は形容詞か副詞) |
| <input type="checkbox"/> well [wél] | 形 | 健康で、元気で 副 うまく、上手に |
| <input type="checkbox"/> 否定語 + much … | 慣 | あまり(多くの)…はない (*「…」は不可算名詞) |
| <input type="checkbox"/> appetite [æpə'taɪt] | 名 | 食欲 |
| <input type="checkbox"/> take [teɪk] | 動 | …を受けとめる、…を受け入れる |
| <input type="checkbox"/> life [laɪf] | 名 | ((不可算)) 生命、生き物、人生、生涯、寿命 |
| <input type="checkbox"/> seriously [sɪəriəsli] | 副 | 真剣に、真面目に (形 serious 真剣な) |
| <input type="checkbox"/> … enough [ɪnʌf] | 慣 | 十分… (*「…」は形容詞か副詞) |
| <input type="checkbox"/> honestly [ɒnɪstli / ɒn-] | 副 | 正直 [率直] に、正直 [率直] に言って |
| <input type="checkbox"/> at first [fɜ:rst] | 副 | 最初(のうちは)、当初は (同 in the beginning) |
| <input type="checkbox"/> Neither did <S> .
[ni:ðər naɪ-] | 慣 | ((過去形一般動詞の否定文を受けて)) <S> もまた
そうしなかった。 |
| <input type="checkbox"/> patient [peɪʃənt] | 形 | 辛抱強い 名 患者 (名 patience 辛抱強さ) |
| <input type="checkbox"/> rarely [rɛərlɪ] | 副 | めったに…しない (同 seldom [seldəm]) |
| <input type="checkbox"/> get … | 動 | …(の状態に)なる (*「…」には形容詞を置く) |

Lesson 10

👉 否定文：助動詞の場合

次に、助動詞の否定文を見てみましょう。助動詞とは「動詞の原形」の前に置いて（疑問文の場合は主語の前に置いて）動詞を補助することばです。can, will, must, may, shouldなどがこれに当たります。助動詞の否定形は、be動詞の否定形と同じく後ろに **not** を置きますが、日常会話では not を n't に短縮して助動詞の語尾に付けます。

	肯定	否定	否定の短縮形
現在形	can	cannot	can't
	will	will not	won't [wóunt]
	must	must not	mustn't [má:nt]
	may	may not	(mayn't)
	shall	shall not	(shan't) [ʃi:nt, ʃá:nt]
過去形	could	could not	couldn't
	would	would not	wouldn't
	might	might not	(mightn't)
	should	should not	shouldn't

(注) can の否定形は can not と離すよりも cannot とくっつける方が一般的です。

(注) () の短縮形はほとんど用いられませんが、参考までに示しています。

(注) (米) では must not の短縮形 mustn't はほとんど使われません。

助動詞の形に注意して、次の3つの例文を読んでみましょう。

① **Students must not enter staffrooms without permission.**

⇒ 生徒は・いけない・入っては・職員室に・許可なしに。

→ 生徒は許可なく職員室に入ってははいけません。

② **Mike, you shouldn't leave the table during the meal.**

⇒ Mike・あなたは・べきでない・立ち去る・テーブルを・食事の間に。

→ Mike、食事の最中にテーブルを離れるのは良くないわ。

③ **I can't and won't put up with it any longer.**

⇒ 私はできない・そして・つもりはない・耐える・それに・これ以上。

→ もうこれ以上、耐えられないし、耐えるつもりもない。

* 2つの助動詞 (can't と won't) が 1つの動詞 (put) にかかっています。

助動詞の意味と使い方については、Chapter 13 で詳しく説明します。

●● VOCABULARY

<input type="checkbox"/> enter [éntər]	動	…に入る、…を入力する
<input type="checkbox"/> staffroom [stæfrú:m, -rúm stá:f-]	名	((主に英) 職員室 (同 ((米) teachers' lounge room) [láundʒ] * アポストロフィの位置に注意)
<input type="checkbox"/> without [wiðáut]	前	…なしに (は)、…のない
<input type="checkbox"/> permission [pərmifən]	名	許可、許諾 (動 permit [pə'mit] …を許可する)
<input type="checkbox"/> leave [li:v]	動	…を立ち去る、…を離れる、…を置き去りにする
<input type="checkbox"/> during [dʒúəriŋ dʒúə-]	前	…の間に、…の間ずっと (接 while ~の間に)
<input type="checkbox"/> meal [mi:l]	名	(定時の) 食事、食事の時間
<input type="checkbox"/> won't [wóunt]	助	(未来において) …しない、…するつもりはない、…しようとしな (* will not の短縮形)
<input type="checkbox"/> put up with …	動	…に耐える、…に我慢する (同 stand)
<input type="checkbox"/> any longer [ɪ:ŋgə]	副	((否定文で用い) もうこれ以上は

Lesson 11

👉 否定文：「無・ゼロ」の語を用いた場合

これまでのレッスンでは、動詞や助動詞を (not や never で) 否定形にして否定文を作ってきましたが、「無・ゼロ」を表す「**名詞句**」や「**代名詞**」を使って否定文を作することもできます。例えば、I have time. (私には時間がある) という肯定文の time に「無」を表す no をつけて I have no time. とすれば、「私は無の時間をもっている」すなわち「私には時間がない」という否定文ができます。「**no + 名詞**」の「名詞句」を用いた否定文をさらに見てみましょう。

① There is no entrance fee for this event.

- ⇒ ある・無の入場料金が・に対して・このイベント。
→ このイベントの入場は無料です。

② Sandy has no children or close relatives.

- ⇒ Sandy は持っている・無の子供を・もしくは・身近な親類を。
→ Sandy には子供も近親者もない。
* no は children と close relatives の両方を修飾。
* この文は Sandy doesn't have any children or close relatives. としても同じです。

③ No two individuals are exactly alike.

- ⇒ 無の二人の個人が・である・厳密に同じ。
→ 全く同じ個人というのは二人として存在しません。

また、「無」を表す「代名詞」には以下のようなものがあります。例文と共に確認してください (neither の例文は Lesson 66 ②、77 ⑤、108 ⑤を参照)。

無の代名詞	直訳 (英語的な和訳)	意訳 (自然な和訳)
nobody, no one	無の人	誰も ... ない
nothing	無のもの [こと]	何も ... ない
neither ... nor ~	...も~もどちらも無	...も~もどちらも ... ない
neither (of ...)	(...の) どちらも無	(...の) どちらも ... ない
none (of ...)	(...の中の) 無	(...の) 誰も [どれも] ... ない

④ Nobody's perfect, except me.

⇒ 無の人が完璧だ・を除いて・僕。

→ 完璧な人間なんていないよ。僕を除いてね。

* 's は is の短縮形です。

* except me は形容詞句で Nobody を修飾。本来は Nobody except me is perfect. ですが、最後に置くことで except me に聞き手の関心を引きつけることができます。⑤ There's nothing between Joe and me.

⇒ ある・無が・の間に・Joe と私。

→ Joe と私の間には何も無いわ。

⑥ None of them doubted Ted's leadership.

⇒ 無の人・彼らの中の・が疑った・Ted の統率力を。

→ 彼らの中に Ted の統率力を疑う者は誰もいなかった。

●● NOTE 「no + 名詞」の名詞は単数形か複数形か

no が可算名詞を修飾する場合、一般的・常識的に1つしかないものは単数形に、2つ以上あるものは複数形にします。例えば、「彼には父親がいない」と言う場合、子供が持つ父親は1人が一般的なので He has no father. と単数形にします。一方、「この木には葉がない」と言う場合、木が持つ葉の数は複数が常識なので This tree has no leaves. と複数形にします。例文②の場合も、夫婦が持つ子供の数は複数である方が一般的なので、no child より no children の方が一般的です（どちらとも言えないケースでは「複数形」にします）。

●● VOCABULARY

□ There is [are] ...

慣 …が存在する。…がいる [ある]。(※文末の「…」が主語で、主語が単数なら is (例文①、Lesson 122 ②)、複数なら are (Lesson 77 ⑤) になる。また、過去形の場合は、単数なら was (Lesson 93 ③)、複数なら were (Lesson 30 ④) になる)

- **entrance** [ɛn'trɑ:ns] 名 入ること、入場、入学、入会、入国、入り口、玄関 (動 **enter** [ɛn'tɜ:] …に入る)
- **fee** [fi:] 名 (入場 [入会、入学] のための) 料金、会費、授業料、(サービスの) 料金、手数料、謝礼
- 否定語 + … **or** ~ 慣 …も〜もどちらもない (*例文②での「否定語」は no。「も」は and ではなく or を用いる)
- **close** [kləʊs] 形 (空間・時間的に) 近い、(関係が) 近い、親しい
副 (空間・時間的に) 近くに、そばに
- **relative** [rɪlətɪv] 名 血縁者、親類の人、親戚 形 相対的な
- **individual** [ɪndəvɪdʒuəl, ɪnɪvɪdʒuəl] 名 (集団に対する) 個人、((形容詞を伴い)) …な人
形 個々の、個別の、個人の
- **exactly** [ɪg'zæktli] 副 厳密に、正確に、まさに、ちょうど (形 **exact** 正確な、厳密な)
- **alike** [ə'laɪk] 形 同じ、同じような (前 **like** …のような)
- **perfect** [pɜ:fɪkt] 形 完璧な、申し分のない、最適な、寸分違わない
- **except** [ɪksɛpt] 前 …を除いて、…を除く
- **between … and** ~ [bi'twi:n] 副 …と〜の間に 形 …と〜の間の
- **doubt** [daʊt] 動 …を疑う、〜に疑いを持つ 名 疑い、疑念
- **leadership** [li:dəʃɪp] 名 統率力、指導力、リーダーシップ、指導者 [リーダー] の地位、指導部

例文に登場する主なキャラクター (3)



Ted (Theodore)

Steve の弟。英国在住。ロンドンの一流会計事務所を経て大手証券会社の副社長にまで出世。

●● NOTE a few と few、a little と little の違い

few と little は前に a を置く場合と置かない場合があります。どちらも数量の少なさを表す点では同じですが、**a few** と **a little** が「少し**ある**」という「肯定」の視点で用いられるのに対し、few、little は「ほとんど**ない**」という「否定」の視点で用いられます。a few と few を例に、両者の違いを確認しましょう。

There are a few eggs left. (卵が少し残っている。)

There are few eggs left. (卵がほとんど残っていない。)

●● VOCABULARY

therefore [ðə'fɔ:tə] 副 それ故に、その結果 (同 **so; as a result** [rɪzʌlt])

shade [ʃeɪd] 名 ((不可算) 日陰、光を遮る物、日よけ、(絵の) 陰影、色の度合い (名 **shadow** [ʃædəu] (人や物が投影された輪郭が明確な) 影)

late [leɪt] 副 遅く、遅くまで 形 遅い、遅刻した

day off 名 休日、仕事[学校]のない日 (* off が day を修飾。複数形は days off)

There is [are] ... left. 慣 …が残っている (* left は leave (…を残す) の過去分詞。この文の left は「残された(状態で)」という副詞で、「存在する」という意味の動詞 is, are を修飾している)

Mr. Gato works late with hardly any day off.

ゴートさんはほとんど休日を休まずに遅くまで働かれています。

④ **Reputation doesn't always match reality.**

⇒ 評判は・常にはない・一致することが・現実と。

→ 評判は必ずしも現実と一致しない。

* Reputation always doesn't match reality. の語順にすると、「評判は常に現実と一致しない」という「全部否定」に解釈されるので注意が必要です。

これら部分否定を、以下の**全部否定**と比較して、意味の違いを確認しましょう。

①' **No information on the Internet is accurate.**

インターネットの情報は**全て**正確でない。

②' **We can't do anything [We can do nothing] by ourselves.**

我々は**何も**自分一人ではできない。

③' **You can't have either [You can have neither].**

あなたは**どちらも** [両方とも] 手にできない。

④' **Reputation never matches reality.**

評判がその現実と一致することは**全く**ない。

* matches は match に「三単現の s」がついた形です。

●● VOCABULARY

- **information** [ɪnfə'meɪʃn]
 □ **on the Internet** [ɪntə'nɛt]
 □ **accurate** [ækjə'reɪt]
 □ **after all**
 □ **by oneself**
 □ **either ... or ~** [i:ðə | əiðə]
 □ **one**
 □ **the other** [ði əðə]
 □ **reputation** [rɛpju'teɪʃən]
 □ **match** [mætʃ]
 □ **reality** [ri:ələti]
 □ **neither (of ...)** [ni:ðə | nəi-]
- 名 ((不可算) 情報 (* 例文①で all informations としない。注意すべき不可算名詞は **R6** を参照)
 形 インターネット上の 副 インターネット上で (* 例文①では形容詞句として information を修飾)
 形 正確な (名 **accuracy** [ækjə'reɪsi] 正確さ)
 副 (なんだかんだ言っても) 結局のところ、やはり
 副 (自分)一人で、独力で (* oneself は **R5** を参照)
 慣 ((肯定文で) ...か~かのどちらか一方、((否定文で) ...も~もどちらもなし)
 代 (三つ [三人] 以上の中の) 一つ [一人]、((二つ [二人] の中の)) 一方、片方
 代 (二つ [二人] の中の) もう一方、他方 (* Lesson 177 ④も参照)
 名 評判、世評、名声
 動 ...と一致する、...とピッタリ合う
 名 現実、実情 (形 **real** [ri:əl | riəl] 現実の、本物の)
 代 (...の) どちらも [両方とも] ない (同 **否定語+** **either (of ...)**) * 例文③')

Lesson 14

👉 疑問文：Yes か No かを尋ねるもの

否定文の次は「疑問文」です。まずは「Yes か No かを尋ねる疑問文」です。このタイプの疑問文は次のようにして作ります。

「**be 動詞の文**」は be 動詞を文頭に出して「**be 動詞 + 主語**」の語順にします。

① "Is this common in Britain?" "No, it's relatively rare."

⇒ 「ですか？・これは・一般的で・英国では」「いいえ・それは比較的まれです」
→ 「これってイギリスでは一般的なんですか？」「いいえ、比較的まれです」

「**助動詞がある文**」は助動詞を文頭に出して「**助動詞 + 主語 + 動詞の原形**」の語順にします。

② "Can you give me a hand?" "Sure. What's up?"

⇒ 「できる？・あなたは・差し出すことが・私に・手を」「いいよ。どうしたの？」
→ 「ちょっと手を貸してもらえる？」「いいよ。どうしたの？」

「**一般動詞の文**」は現在形なら「**Do [Does] + 主語 + 動詞の原形**」(Does は主語が三人称単数の場合)に、過去形なら「**Did + 主語 + 動詞の原形**」の語順にします。

③ Does anyone agree with me, or do you all disagree?

⇒ いかなる人でも賛成ですか？・私に・それとも・あなた達全てが反対ですか？
→ 誰か私の意見に賛成の人はいますか？ それとも、皆さん反対でしょうか？
* you all については Lesson 32 の VOCABULARY 欄 (最後から 3 つ目) を参照。

④ "Did you pay for it yourself?" "Yep."

⇒ 「君は支払いましたか？・それを得るために・自分で」「うん」
→ 「君はその代金を自分で支払ったの？」「うん」

また、「～ですか？」を「～ではない(の)ですか？」という否定形にする場合は文頭の be 動詞、助動詞、Do, Does, Did をそれぞれ「**短縮した否定形**」(Isn't, Aren't, Wasn't, Weren't, Can't, Won't, Shouldn't, Don't, Doesn't, Didn't) にします。

⑤ **"Aren't you sleepy yet?" "No, I'm not."**

⇒「ないですか？・君は・眠く・まだ」「いいえ・私はそうではない」

→「まだ眠くない？」「うん、眠くない」

* 2番目の文は No, I'm not sleepy yet. の下線部を省略したものです。

⑤のような、**否定形の疑問文に対する Yes/No の返答は、肯定形の疑問文と同じ**です。つまり、英語では質問の肯定形・否定形に関係なく、返答内容が肯定なら Yes と答え、否定なら No と答えます。⑤の **Aren't you sleepy yet?** は **Are you sleepy yet?** への返答と同じで、内容が否定 (I'm **not** sleepy.) なので No とします。同様に、**"Don't you love him?"** (彼のことを**愛していないの?**) に対する返答は、**"Do you love him?"** への返答と同じで、内容が肯定 (=「愛している」) なら **Yes**、否定 (=「愛していない」) なら **No** とします。日本語の「はい」「いいえ」をそのまま Yes、No としないように注意してください。

●● NOTE **平叙文の疑問文**

日常会話では、Yes か No かを尋ねる疑問文を「**平叙文の語順**」にして文末を上昇調に発音することがあります。例えば、例文④の疑問文 **"Did you pay for it yourself?"** は、次の⑥の最初の文のように言うことができます。

⑥ **"You paid for it yourself?" "Nope."**

→「君はその代金を自分で支払ったの?」「いいえ」

このように平叙文の形で用いる理由は、会話では相手の言ったことに対して即座に返答する必要があり、Did you pay ...? よりも You paid ...? の方が素早く言えるからです。次の下線部も Do you mean ...? より素早く言えます。

⑦ **You mean I've got to do this all over again?**

⇒あなたは言わんとしていますか？・私がしなければならないと・これを・もう一度最初から。

→つまり、もう一度最初からこれをしなければいけない、ということですか？

●● VOCABULARY

- common** [kámən | kóm-] 形 一般的な、よくある、共通の
 Britain [brítən] 名 英国、イギリス (*正式名は the United Kingdom)
 relatively [rélativli] 副 比較的、相対的に (形 **relative** 相対的な)
 rare [réər] 形 まれな、珍しい (副 **rarely** まれにしか…ない)
 give ... a hand 動 …に手を貸す、…を手助けする
 Sure. [ʃúər] 慣 ((快諾の返事として)) もちろん。いいよ。
 What's up? 慣 どうしたの? ; 何があったの? ; 変わりない?
 anyone [éniwán, -wən] 代 いかなる人(で)も、誰(で)も
 agree with ... [əgrí:] 動 <人>と同じ意見だ、<考え>に賛成だ
 disagree [disəgrí:] 動 意見が異なる、反対だ (* dis- は反意語を作る)
 pay for ... 動 …の代金 [代価、費用] を支払う
 oneself 副 自分自身(が) 代 自分自身
 yep [jép] 副 ((口語)) うん、ああ (* yes のくだけた言い方)
 sleepy [slí:pi] 形 眠い、眠そうな、(場所が) 静かで活気がない
 yet [jét] 副 まだ、もう、今までのところ
 nope [nóup] 副 ((口語)) いえ、いいや (* no のくだけた言い方)
 You mean ~ ? [mi:n] 慣 つまり~ということですか?
 've got to Vb [gát | gət] 慣 Vしなければならぬ (* 've は have の短縮形)
 all over again 副 もう一度最初から

You mean I've got to do this all over again?

* You mean I've got to do this all over again?
 * You mean I've got to do this all over again?
 * You mean I've got to do this all over again?
 * You mean I've got to do this all over again?

肯定文には否定の付加疑問、否定文には肯定の付加疑問、という関係に注意して、次の例文を読んでください。

① "It's horrible weather, isn't it?" "Yeah, it's awful."

- ⇒ 「天候はひどい天気だ・その通りですよ?」「ええ・天候はひどいです」
→ 「ひどい天気ですね」「ええ、ひどいですね」
* 2つの文の主語 it は「天候」を表す形式上の主語 (Lesson 167) です。It's を省略して "Horrible weather, isn't it?" とすることもあります。

② "I said something stupid, didn't I?" "No, not in the least."

- ⇒ 「私は言った・ある事を・馬鹿な・その通りですよ?」「いいえ・そうでない・少しも」
→ 「私、馬鹿なこと言っちゃったよね?」「ううん、全然」
* 2番目の文は No, you didn't say anything stupid in the least. の下線部を省略したものです。

③ "You will stay in touch, won't you?" "Of course I will."

- ⇒ 「あなたは・あり続けるつもりだ・連絡を取り合った状態で・その通りですか?」
「もちろん・私はそうするつもりです」
→ 「今後も連絡を取り合ってくれるかな?」「ええ、もちろん」

④ "I'm not interrupting you, am I?" "Not at all."

- ⇒ 「私は邪魔していない・あなたを・その通りですか?」「いいえ・全く」
→ 「私、(お仕事の) 邪魔をしていないでしょうか?」「いえ、全然大丈夫です」
* 2番目の文は You're not interrupting me at all. の下線部を省略したものです。

⑤ "That doesn't make sense, does it?" "Yes, it does."

- ⇒ 「それは作らない・意味 [道理] を・その通りでは?」「はい・それは作ります」
→ 「それでは意味を成さないのでは?」「いいえ、成します」
* 意識の「いいえ」が No ではないことに注意 (Lesson 14 ⑤の後の説明を参照)。

⑥ We can't miss this opportunity, can we?

- ⇒ 私達は逃すことができない・この機会を・その通りですよ?
→ この機会を逃す手はないでしょ。

それから、no + 名詞、nothing、nobody、none など、「無[ゼロ]の(代)名詞」を用いた文は「否定文」なので、付加疑問は「肯定形」になります。

⑦ No one really believes in fairies, do they?

⇒ 無の人が本当に信じている・妖精を・その通りでは？

→ 妖精がいるって本当に信じている人はいないんでしょう？

* No one は単数形で男女両方を指します。No one の代名詞は he や she という単数形にするよりも男女の区別がない複数形の they にする方が一般的です。

付加疑問は、少し自信がなくて確認する場合は「上昇調」で発音し、自信があつて同意を求める場合には「下降調」で発音します。

上昇調 ↗ …… 自信がない：「その通りですか？」「その通りでは？」

下降調 ↘ …… 自信がある：「その通りですよ？」「その通りでしょ？」

次の2つの例文で、ニュアンスの違いを確認しましょう。

⑧-1 That was interesting, wasn't it? ↗

おもしろかったのでは？（少し自信がなくて確認している）

⑧-2 That was interesting, wasn't it? ↘

おもしろかったね。（自信があつて同意を求めている）

ちなみに、例文③④⑤⑦は上昇調、①②⑥は下降調で発音しています。

●● NOTE 付加疑問の代用 right

自信がなくて確認する場合、付加疑問の代わりによく「right?」(↗)を用います。例文⑦なら、No one really believes in fairies, right? になります。また、「I am」の付加疑問は正式には「aren't I?」ですが、通常は「right?」を用います。

⑨ See? I'm good at baseball, right?

⇒ ほらね？ 僕は上手だ・野球が・その通りでは？

→ ほらね？ 僕って野球が上手でしょ？

●● VOCABULARY

- horrible** [hɔːrəbl] 形 ひどい、嫌な (同 **terrible** [tɛrəbl])
- weather** [wɛðər] 名 天気、天候 (*不可算名詞なので a を付けない)
- yeah** [jéə] 副 うん、ええ (* yes のくだけた言い方)
- awful** [ɔːfəl] 形 ひどい、ひどく悪い (同 **terrible**)
- stupid** [stjúːpɪd | stjúː-] 形 馬鹿な、間抜けな、愚かな
- in the least** [lɪːst] 副 ((not と共に用い)) 全然、少しも
- stay in touch** [tʌtʃ] 動 連絡を取り合う [絶やさない] (同 **keep in touch**)
- of course** [əv / əf kɔːrs] 副 もちろん、言うまでもなく
- interrupt** [ɪntərʌpt] 動 …を妨げる、…を中断する、…の邪魔をする
- at all** 副 ((not もしくは no ... と共に用い)) 全然、少しも (* Not at all. の形でよく用いる)
- make sense** [séns] 動 意味をなす、話に通じる、筋が通る
- miss** [mɪs] 動 …を逃す、…を見逃す、…に乗り損なう
- opportunity** [əpɔːtjúnəti] 名 機会、好機、チャンス
- no one** 代 無の人、誰も…ない (同 **nobody**)
- really** [riːəli] 副 本当に、実際に
- believe in** … [bɪliːv] 動 …の存在 [価値] を信じる
- fairy** [féəri] 名 妖精 形 妖精の (名 **fairy tale** おとぎ話。例文 ⑦の **fairies** は複数形 (R8 ③を参照))
- See?** 慣 ほらね? ; ね? ; でしょう? ; わかる?
- be good at** … 動 …が上手だ (反 **be bad at** … …が下手 [苦手] だ)

③ I'm relying on you, so don't let me down, OK?

- ⇒ 私は頼りにしている・君を・だから・させないで・私を・がっかり・いいですか？
 → 頼りにしているんだから、がっかりさせないでよ？
 * will you? (そうしてくれる?) も可能ですが、OK? の方が一般的です。

また、Let's (not) ... の付加疑問は shall we? とします。

④ "Let's take a look inside, shall we?" "Yes, let's."

- ⇒ 「行おう・一見を・内部で・そうしますか?」「はい・そうしよう」
 → 「ちょっと中を覗いてみませんか?」「ええ、そうしましょう」
 * この付加疑問は ((米)) では古めかしく聞こえるのであまり用いられません。

●● VOCABULARY

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> There you go again. | 慣 ((同じこと [言葉] を繰り返す人に対して))
また始まった。またそんなことして [言って]。 |
| <input type="checkbox"/> Give me a break.
[brɛɪk] | 慣 勘弁してよ。いい加減にしてよ。 |
| <input type="checkbox"/> Come in. | 慣 お入りください。(部屋の) 中に入って。 |
| <input type="checkbox"/> take a seat [si:t] | 動 着席する、腰掛ける (同 have a seat) |
| <input type="checkbox"/> rely on ... [rɪlaɪ] | 動 ...に頼る、...を当てにする |
| <input type="checkbox"/> so | 接 だから、それゆえ |
| <input type="checkbox"/> let ... down | 動 ...をがっかり [失望] させる |
| <input type="checkbox"/> take a look | 動 一見する、ちょっと見る (同 have a look) |
| <input type="checkbox"/> inside [ɪn'saɪd, ㄣ] | 副 内部 [内側] で、内部 [内側] へ 前 ...の内部 [内側] で、...の内部 [内側] へ (反 outside) |

Ch. 2

④ How do you spell and pronounce "Hello" in Spanish?

- ⇒ どのように・人は綴りますか・そして・発音しますか・Helloを・スペイン語で。
→ スペイン語で「Hello」はどう綴り、どう発音するのですか？

why は理由を尋ねる以外に、「**Why don't you Vb?**」(Vしてはいかがですか?)、「**Why not Vb?**」(Vしてはいかがですか?)、「**Why don't we Vb?**」(Vしませんか?) という「提案」の表現としてもよく用います。

⑤ Why don't you try it on for size?

Why not try it on for size?

- ⇒ 試してみようですか?・あなたは・試着するのを・それを・サイズ確認のために。
⇒ 試してみようですか?・試着するのを・それを・サイズ確認のために。
→ サイズが合うか、試着してみれば?

⑥ Why don't we share a taxi and split the fare?

- ⇒ しませんか?・私達は・一緒に使うのを・タクシーを・そして・割るのを・料金を。
→ 一緒にタクシーに乗って、料金を割り勘にしませんか?

●● VOCABULARY

<input type="checkbox"/> park [pɑ:rk]	動 …を駐車する、駐車する
<input type="checkbox"/> nearest [niərest]	形 一番近くの、最寄りの (同 closest)
<input type="checkbox"/> parking lot [lɑ:t -lɒt]	名 ((米)) 駐車場 (同 ((英)) car park)
<input type="checkbox"/> flight [flaɪt]	名 (飛行機の) 便、フライト、飛ぶこと
<input type="checkbox"/> depart [dɪpɑ:rt]	動 出発する、旅立つ (同 leave 名 departure 出発)
<input type="checkbox"/> out of	前 …の外に、((動機・原因を表し)) …から
<input type="checkbox"/> curiosity [kjʊəriəsəti -sɪ-]	名 好奇心 (形 curious [kjʊəriəs] 興味がある、興味をそそる)
<input type="checkbox"/> break up [brɛɪk]	動 壊れる、分裂する、解散する、別れる
<input type="checkbox"/> you	代 (相手の地域の) 人、(世間一般の) 人
<input type="checkbox"/> spell [spɛl]	動 …を綴る、字を綴る、綴りを言う
<input type="checkbox"/> pronounce [prənəʊns]	動 …を発音する (名 pronunciation [prənʌnsi'eɪʃn] 発音)
<input type="checkbox"/> in 言語	副 <言語>を使って、<言語>で
<input type="checkbox"/> try ... on	動 …を試着する (動 put ... on …を着る)
<input type="checkbox"/> share [ʃeə]	動 …と一緒に使う [分かち合う] 名 分け前、割り当て
<input type="checkbox"/> split [splɪt]	動 …を割る [分割する] (動 split the bill 勘定を割る)
<input type="checkbox"/> fare [fɛə]	名 乗車料金、運賃

"How often do you exercise?" "Every other day."

"How far is it from your workplace?"

Lesson 18

👉 疑問文：「how + 形容詞 / 副詞 / 代名詞」の場合

howには「どのように」という「方法」「様子」を尋ねる使い方 (Lesson 17 ④で学習) と、「どのくらい…」という「程度」を尋ねる使い方があります。「どのように」の場合は1語で用いますが、「どのくらい…」の場合は次のように、「**how + 形容詞**」の「形容詞句」や「**how + 副詞**」の「副詞句」で用います。

how old (年齢)	how tall (背丈)	how large (大きさ)
how often (頻度)	how soon (時期)	how far (距離)
how fast (速さ)	how high (高さ)	how long (長さ)

「**how + 形容詞**」の「形容詞句」は「How + 形容詞 + be 動詞 + 主語?」か「How + 形容詞 + do [does, did, 助動詞] + 主語 + 動詞?」になります。これは、「Be 動詞 + 主語 + 形容詞?」と「Do [Does, Did, 助動詞] + 主語 + 動詞 + 形容詞?」の形容詞が how と共に文頭に出たものです (例文⑤の1番目の文も該当)。

① "How old is this wine?" "Let's see. It's 20 years old."

⇒ 「どれだけ古いですか? ・このワインは」「ええっと。それは20年の古さです」
→ 「このワインは何年物ですか?」「ええっと…20年物です」

「**how + 副詞**」の「副詞句」は Lesson17 の副詞の疑問詞と同様、後ろが Yes か No かを尋ねる疑問文の語順 (黒の下線部) になります。

② "How often do you exercise?" "Every other day."

⇒ 「どのくらい頻繁に・あなたは運動していますか?」「1日おきに」
→ 「どのくらいの頻度で運動をしていますか?」「1日おきです」

③ How far is it from your workplace?

⇒ どのくらい遠くに・ありますか? ・それは・あなたの職場から。
→ それはあなたの職場からどのくらい離れていますか?
* is は「存在」の意味で、副詞句の How far は動詞 is を修飾しています。

④ How much do you like school on a scale of 1 to 5?

⇒ どのくらいたくさん・あなたは好きですか? ・学校が・段階で・1から5までの。

→ 5段階評価で、君はどのくらい学校が好き?

* much は I like it very much. の much と同じで「量」「程度」を表しています。

次の how tall (どのくらいの背丈がある) は「**how + 形容詞**」の「形容詞句」、
how high (どのくらい高く) は「**how + 副詞**」の「副詞句」です。

⑤ Joe, how tall are you and how high can you jump?

⇒ Joe・どれだけ背が高い・ですか? ・君は・そして・どれだけ高く・できますか? ・
君は・ジャンプすることが。

→ Joe、君の身長は? どれくらい高くジャンプできる?

「how many」と「how much」には2つの使い方があります。1つは many、
much が後ろの「名詞」を修飾して「**名詞句**」になる場合、もう1つはそのまま
「**代名詞句**」として用いる場合です。

名詞句	how many + 可算名詞 (複数形) (どれだけの数 [いくつ、何人] の…)	how much + 不可算名詞 (どれだけ quantity の量・額の…)
代名詞句	how many (どれだけの数、いくつ、何人)	how much (どれだけ quantity の量・額)

(注) 表の「名詞句」で「可算名詞 (複数形)」と「不可算名詞」が何を指すのか文脈から
明白な場合は many と much を「代名詞」として用います。

これらの「名詞句」と「代名詞句」は主に**目的語**(O) (「…を」という意味で動詞
の後ろに置かれる名詞や代名詞) が**主語**(S) で用いられます。次の2つの例文
は、「名詞句」である「how many + 名詞」「how much + 名詞」が動詞 receive と
add の目的語(O)になっています(目的語は Lesson 37, 38 で詳しく学習します)。

⑥ How many inquiries do you receive per month?

O S V

⇒ どれだけ number の数の問い合わせを・あなたは受け取りますか? ・月当たり。

→ 月にどれくらい問い合わせがありますか?

⑦ How much water should I add to the mixture?

O S V

⇒ どれだけの量の水を・ベキですか?・私は・足す・その混合物に。

→ 混ぜ合わせたものに、どのくらい水を足せばいいの?

* もし、この文の water が話の前関係から明白であれば、much を代名詞として用い、How much should I add to the mixture? とすることができます。

次の例文は、名詞句の「how many + 名詞」が「主語」になっています。主語 (S) になる場合は、直後に動詞 (V) が来ます。

⑧ How many people attended the workshop?

S V

⇒ どれだけの数の人々が出席しましたか?・その研修会に。

→ 研修会の出席者は何名でしたか?

次の例文では、How many people の people が文脈から明白なので、代名詞句 How many が用いられています。How many が主語、are が動詞ですが、一般に会話では文を簡略化するので、言わなくてもわかる are が省略されています。

⑨ "How many in your party?" "Four."

S

⇒ 「どれだけの数ですか?・の中には・あなたの一行」「4です」

→ 「何名様でしょうか?」「4人です」

●● VOCABULARY

Let's see.

慣 (何かを探したり思い出そうとして) ええっと。
どれどれ。確か…。(同 Let me see.)

exercise [éksə'saiz]

動 運動する [名] 運動、体操、練習

every other …

副 1…おきに (* every other line 1行おきに)

far [fá:]

副 (距離・時間的に) 遠くに [へ]、(程度が) ずっと

workplace [wó:rkpléis]

名 職場、仕事場

□ **on a scale of ... to ~**
[skéil]

副 …から～までの段階[点数]で (* scale は「目盛り、物差し、尺度」という意味)

□ **high** [háí]

副 高く 形 高い (* 巻末の付録 R9 を参照)

□ **inquiry** [inkwá:əri]

名 ((米) 問い合わせ、照会、調査、((英) 調査 (同 ((英) **enquiry** [inkwá:əri] 問い合わせ) 動 ((米) **inquire** / ((英) **enquire** [inkwá:ər] (…を) 尋ねる * 例文⑥の inquiries は複数形)

□ **receive** [ri:si:v]

動 …を受け取る (名 **receipt** [ri:si:t] 受け取り)

□ **per** ... [pɔ:r, pɔ:]

副 1…当たり、1…につき (同 **a** [an] ...)

□ **add** ... (to ~) [æd]

動 …を(～に)付け加える [付け足す]

□ **mixture** [mikstʃə]

名 混合物、調合物 (動 **mix** …を混ぜる)

□ **attend** [əténd]

動 …に出席[参列]する、<学校など>に通う (名 **attendance** [əténdəns] 出席、出勤、参加)

□ **workshop** [wɔ:rkʃɔ:p]

名 (少人数の) 研修会、セミナー

□ **party** [pá:ti]

名 (行動を共にする) 一行、一団、グループ

例文に登場する主なキャラクター (4)



Joe (Joseph)

Smith 家の長男。
バスケットと漫画が趣味。
大学卒業後、業務請負
会社に就職。

Lesson 19

👉 疑問文 : what, which の場合

次は、**what** と **which** を使った疑問文です。この2つは同じ使い方をします。what と which は次の表のように「代名詞」として用いる場合と、後ろの名詞を修飾して「名詞句」として用いる場合とがあります。

代名詞	what (何)	which (どちら、どれ)
名詞句	what + 名詞 (何の [どんな] …)	which + 名詞 (どちらの…、どの…)

これらの「代名詞」「名詞句」は次のいずれかとして文頭に置かれます。

(1)	be 動詞の補語 (C)	「イコール」の意味で用いる be 動詞の後ろ
(2)	動詞の目的語 (O)	一般動詞の後ろで「…を」に当たる部分
(3)	前置詞の目的語 (O)	前置詞の後ろ
(4)	主語 (S)	

まずは、(1)の「**be 動詞の補語 (C)**」の例です。

① **"What's the date today?"** The 12th? "That's right."

C V S

"What date is it today?" The 12th? "That's correct."

C V S

⇒ 「何ですか? ・日付は・今日の。12番目?」「それは正しい」

⇒ 「何の日付ですか? ・今日は。12番目?」「それは正しい」

→ 「今日は何日? 12日?」「そうです」

* 1番目の文の today は date を修飾。What's today's date?(today's は date を修飾)としてもよい。What day is it today? は「今日は何曜日ですか?」という意味。

② **"Which are the most important documents?"**

C V S

⇒ どれですか? ・最も重要な書類は。

→ **最も重要な書類はどれですか?**

* 話し手は最も重要な書類が「複数」と予想して尋ねています。

次は、(2)の「動詞の目的語 (O)」と、(3)の「前置詞の目的語 (O)」の例です。

③ "What can I do for you?" "I want to open an account."

O S V

⇒ 「何を・できますか?・私は・することが・あなたのために」「私はしたい・開くことを・口座を」

→ 「何かお役に立てますでしょうか?」「口座を開設したいのです」

④ Which do you prefer, American movies or foreign ones?

O S V

⇒ どちらを・あなたはより好みますか?・アメリカの映画・それとも・外国の映画。

→ アメリカの映画と外国の映画のどちらがより好きですか?

⑤ Which credit cards do you accept?

O S V

⇒ どのクレジットカードを・あなたのところは受け入れていますか?

→ どのクレジットカードが使えますか?

* cards と複数形なのは複数のカードを受け入れていると予想されるからです。

⑥ What kind of ingredients do you use?

O S V

⇒ どんな種類の食材を・あなたは使っていますか?

→ どんな食材を使っているのですか?

* What は kind を修飾し、What kind of が ingredients を修飾 (Lesson 5 の表を参照)。

⑦ "What's this line for?" "No idea. I'm new here."

O V S 前置詞

⇒ 「何・この列はありますか?・のために」「わからない。私は来たばかりだ・ここに」

→ 「これは何の行列ですか?」「さあ。私も今ここに来たばかりなので」

最後は、「主語 (S)」の例です。主語 (S) の場合は、直後に動詞 (V) が来ます。

⑧ "What brought you here?" "I'm here on vacation."

S V

⇒ 「何が連れてきましたか?・あなたを・ここに」「私はいる・ここに・休暇で」

→ 「どうしてこちらへ?」「休暇で来ています」

⑨ Which bus goes to the airport? What number is it?

S V

⇒ どのバスが行きますか?・空港へ。何番ですか?・それは。

→ 空港行きのバスはどれですか? 何番(のバス)ですか?

* 2 番目の文は例文①と同じ「C (What number) V (is) S (it)」です。

●● VOCABULARY

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> date [dēi] | 名 日付、年月日、デート(の相手) 動 …に日付を入れる、<異性>と付き合う |
| <input type="checkbox"/> That's right. [raɪt] | 慣 それは正しい。その通りです。 |
| <input type="checkbox"/> correct [kərəkt] | 形 正確な、誤りのない 動 …を訂正[修正]する |
| <input type="checkbox"/> document
[dɒkjumənt dɒk-] | 名 ((可算)) 文書、書類 |
| <input type="checkbox"/> want to Vb | 動 Vしたい (同 wish to Vb) |
| <input type="checkbox"/> account [əkaunt] | 名 勘定、計算書、預金口座、説明、報告、記事 |
| <input type="checkbox"/> prefer [prɪfə:] | 動 …をより好む、…の方を望む (名 preference [prɪfərəns] 好み、選好、優先) |
| <input type="checkbox"/> foreign [fɔ:rin, fɔ:rən fɔ:rn] | 形 外国の、海外の (同 overseas [ouvərsi:z]) |
| <input type="checkbox"/> … ones [wʌnz] | 代 …なもの[人達] (* ones は既出の名詞を置き換えた複数形の代名詞で、前に修飾語を伴う。例文④では movies の置き換え) |
| <input type="checkbox"/> credit card [krédit ká:rd] | 名 クレジットカード |
| <input type="checkbox"/> accept [æksəpt, ək-] | 動 …を受け入れる (名 acceptance 受け入れ
*例文⑤の accept は take に置き換えが可能) |
| <input type="checkbox"/> ingredient [ɪŋgrɪ:diənt] | 名 (料理・食品・薬などの) 原材料、食材、成分 |
| <input type="checkbox"/> line [laɪn] | 名 列、行列、線、回線 |
| <input type="checkbox"/> No idea. | 慣 わからない。(* I have no idea. の略) |
| <input type="checkbox"/> be new | 動 来て間もない、新参者[新人]である |
| <input type="checkbox"/> What brought you here? | 慣 何のために[なぜ]ここへ来たのですか?
(同 What brings you here?) |
| <input type="checkbox"/> on vacation [vɛɪkəʃən, və-] | 副 ((米)) 休暇で (同 ((英)) on holiday) |

- Who is it?** 慣 ((見えない相手に対し)) 誰ですか? ; どちら様ですか? (*電話では Who is this? とする。Who are you? は失礼な聞き方)
- Come on in.** 慣 さあ入って。(＊家や部屋に招き入れる表現)
- so** 副 ((口語)) とところで、それで (*会話の途中で話題を変えたり、質問をする時に用いる)
- 疑問詞 **else** [ɛls] 慣 他の<疑問詞> (*「疑問詞」は主に、who, what, where)
- reunion** [riːjuːnjən] 名 同窓会、再会の集い
- Who do you fly with?** 慣 どの航空会社を使っていますか?
(同 **Which airline do you use [fly with]?**)
- usually** [juːʒuəli] 副 たいいてい、ふつう、通常は (同 **normally** [nɔːrml̩li] 形 **usual** いつもの、通常の)
- laundry** [lɑːndri] 名 洗濯、洗濯物 (動 **do the laundry** 洗濯をする)
- household** [ˈhɑʊshəʊld] 名 共に暮らす人々、世帯 形 家庭 [一家] の
- fault** [fɔːlt] 名 責任、(…の) せい、落ち度、過失
- then** [ðen] 副 それなら、それでは
- corporation** [kɔːrpəreɪʃən] 名 企業、法人 (同 **company, firm** [fɜːrm])
- exist** [ɪgzɪst] 動 存在する (名 **existence** [ɪgzɪstəns] 存在)

Chapter 3

単語・熟語数：113

文法のテーマ：時制

現在や過去などの時間的な関係は、主に動詞の形によって表され、その形を「時制」と呼びます。基本的な時制は「現在形」と「過去形」で、また、それぞれに「進行形」と「完了形」があります。